

「平成27年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第3回）」
議事概要

I 日 時

平成27年12月14日（月）15：00～17：00

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

松田 憲二（有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役）

和田 義博（公認会計士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

- ① 1月から3月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 事前点検未実施の9月から12月にかけて調達した案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事後点検について
- ③ 7月から9月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

（2）その他

V 議事内容

- (1) ・ 1月から3月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ・ 事前点検未実施の9月から12月にかけて調達した案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事後点検について
 - ・ 7月から9月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 随意契約（企画競争・公募を含む）の契約価格の妥当性については、他者との見積比較の実施や見積明細書の入手による内容精査を行う等、価格交渉における工夫やコスト削減効果を具体的に示すこと。</p> <p>② 緊急性の高い随意契約を締結する場合であっても、価格交渉に努め、契約金額の妥当性のチェックを怠らないこと。また、緊急案件の機関決定のプロセスの改善に努めること。</p> <p>③ 情報システム調達の際には、開発とその後の運用・保守を分けて発注するか、一括発注するかについて、どちらが合理的かを検討し、開発から運用・保守に至る全体像を提示すること。特に開発受注業者が、運用・保守業務も独占的に受注する可能性が高い場合は、開発から運用・保守も含めて競争入札とすべきである。</p> <p>④ リース契約（再リース契約を含む）を行う際には、賃貸借料、保守料及びその他関連費用等契約金額の内訳を明示すること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めて参りたい。</p>

(2) その他

平成27年12月～平成28年3月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。